

2025年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | | |
|------------------|---|--|------------------------------------|-------------|-----|---|
| 授業科目名 | 教育・保育相談の理論と方法 | | 教員氏名 | 横川剛毅 | | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-3-4 | | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 前期 | | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | | |
| 必修・選択 | 保育士・幼免必修 | | 実務経験 | 障がい者支援施設支援員 | 10年 | |
| テーマ | 教育・保育相談の意義と理論、方法、展開について習得する | | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ | |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | | |
| 授業の概要 | 教育・保育相談に関して、下記の到達目標を踏まえた講義と併せ、さまざまな事例検討や学生同士のディスカッション・ロールプレイを通して学ぶ。 障がい者支援施設支援員、及び施設第三者委員としての相談職務の経験を活用して、具体的相談場面を織り交ぜながら事例を通して相談の基本を概説する。 | | | | | |
| 授業の到達目標 | ①教育・保育相談の理論を土台として、受容・傾聴・共感的理解を心がけて対応できる。 | | | | | |
| | ②相談における関係の重要性を理解し、コミュニケーション技法を用いることができる。 | | | | | |
| | ③保護者からの相談への対応において、他者との連携を心がけることができる。 | | | | | |
| テキスト | なし。授業内でプリントを配布する。 | | | | | |
| 参考書 | なし | | | | | |
| ポートフォリオ | 授業内で指示する。 | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ | |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | | |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | | |
| | ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | | |
| | その他: | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | | |
| | 授業内課題参加度出席態度等 | 100 | レポート課題(60%)、事例発表(20%)、授業に臨む姿勢(20%) | | | |
| | その他 | | | | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|---------------------------------|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション、教育・保育相談が求められる状況の理解 | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の基本① 生活モデルとエコロジカルアプローチ | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の基本② エンパワメントとストレングス視点 | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の原則② ハイステックの7原則の学び(前半) | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の原則② ハイステックの7原則の学び(後半) | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 信頼を得るためのコミュニケーション技法① 8技法の学び(前半) | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 信頼を得るためのコミュニケーション技法② 8技法の学び(後半) | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 保護者からの苦情への対処 | |
| | 授業外学習 | これまでの学びの復習 | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 事例検討① ショート事例の読み込みと取り上げる事例の選定 | |
| | 授業外学習 | 事例検討の予習 | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|---------------------|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 事例検討② 事例検討と発表準備 | |
| | 授業外学習 | 事例発表のためのプレゼンテーション準備 | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 事例検討の結果発表① | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 事例検討の結果発表② | |
| | 授業外学習 | プリント資料を読み込んで復習する | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | 総括とレポート作成 | |
| | 授業外学習 | 総復習する | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

発表課題について学生による相互評価を行うとともに、教員による評価を実施し授業内で伝える。

2025年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | | |
|------------------|---|--|--|-------|----|---|
| 授業科目名 | 教育・保育相談の理論と方法 | | 教員氏名 | 中野陽子 | | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-3-4 | | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 後期 | | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | | |
| 必修・選択 | 保育士・幼免必修 | | 実務経験 | 社会福祉士 | 7年 | |
| テーマ | 教育・保育の相談援助に必要な基礎的な価値・知識・技術の習得 | | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ | |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | | |
| 授業の概要 | 教員・保育者として必要となる相談援助・教育相談の理論を習得する。また、コミュニケーション技術の学習と教育・保育相談事例の検討やロールプレイを実施し教育・保育相談実践や幼児理解に生かせるようにする。 社会福祉士として障がい者施設において利用者や保護者への相談援助を実践していたことをもとに保育相談の支援方法について伝えていく。 | | | | | |
| 授業の到達目標 | ①教育・保育者として必要な教育・保育における相談援助の知識を理解し説明できる。 | | | | | |
| | ②教育・保育者に求められるコミュニケーション技術を理解し実践できる。 | | | | | |
| | ③事例検討やロールプレイを通じて、専門職として教育・保育における相談援助を実践することができる。 | | | | | |
| テキスト | 『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会 演習・保育と相談援助』第2版 みらい 前田敏雄監修、佐藤伸隆・中西遍彦編集 | | | | | |
| 参考書 | 授業内で随時紹介 | | | | | |
| ポートフォリオ | 授業内で指示 | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ | |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | | |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | ○ | |
| 成績評価方法 | その他: | | | | | |
| | 区分 | 割合(%) | 内容 | | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 100 | 総括レポート40%、授業取り組み60%(小テスト・リアクションペーパー・ロールプレイ等) | | | |
| その他 | | | | | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|--|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション、授業の進め方、保育者が教育・保育相談の理論と方法を学ぶ意義とは | |
| | 授業外学習 | 第1章を熟読し、教育・保育相談の理論と方法を学ぶ意義についてまとめる。 | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 相談援助者になるために①(自己理解)グループワーク | |
| | 授業外指示 | 第4章を熟読し、教育・保育相談を行う上で必要な自己理解についてまとめる。 | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 相談援助者になるために②(他者理解)グループワーク | |
| | 授業外指示 | 第4章を熟読し、多様な価値観があることに気づき、受容することの大切さについてまとめる。 | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 幼児教育・保育における相談の基本①(相談援助の過程・ものの見方) | |
| | 授業外指示 | 第3章を熟読し、教育・保育相談に必要な手順と留意点をまとめる。 | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 幼児教育・保育における相談の基本②(相談援助の機能・定義・相談者としての幼稚園教諭・保育者の役割と視点) | |
| | 授業外指示 | 第2章を熟読し、教育・保育相談の意味と視点についてまとめる。 | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 幼児教育・保育における相談の基本③(バイスティックの7原則) 受容、傾聴、共感的理解 | |
| | 授業外指示 | 第2章を熟読し、受容・共感・傾聴のポイントについてまとめる。 | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 相談援助者になるために③(コミュニケーション技法:言語コミュニケーション) 課題 | |
| | 授業外指示 | 第2章を熟読し、不登校の子ども事例に基づき、言語でのコミュニケーション方法について理解したことをまとめる。 | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 相談援助者になるために④(コミュニケーション技法:非言語コミュニケーション) 課題 | |
| | 授業外指示 | カウンセリングマインドに基づき、非言語コミュニケーションについて理解したことをまとめる。 | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 相談援助者としてのカウンセリングマインドの理解、カウンセリングの進め方(原則)、教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ①(子ども家庭支援センター) | |
| | 授業外指示 | 事例検討およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる。 | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|--|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 幼児理解(幼児観察法を中心とした理論と方法)、教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ②(母子生活支援施設) | |
| | 授業外指示 | 事例検討およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる。改善点を整理し次のロールプレイに備える。 | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ③(虐待) | |
| | 授業外指示 | 3回実施したロールプレイを振り返り、自身の課題についてまた学んだことについてまとめる。 | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 記録、事例検討、専門職連携 | |
| | 授業外指示 | 事例を振り返り、専門職との連携も含めた教育・保育相談の方法について理解したことをまとめる。 | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | 相談援助者になるために⑤(多角的な視点を養う)・まとめ | |
| | 授業外指示 | 多角的な視点が身につけることができたかどうか振り返りまとめる。保育者として教育・保育相談応じるための理論と方法について総括する。 | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

- ・小テストの考察を授業時に口頭やパワーポイント等でフィードバックを行う。
- ・本日の学びのアウトプットを記載し学生同士で発表しあいそのフィードバックも行う。